

2008年3月期決算説明会

'07(平成19)年度決算概況 P 2 ~ P 10

'08(平成20)年度業績予想 P 11

第7次中期3ヵ年計画の進捗状況 P 12 ~ P 16

説明者 代表取締役社長 手島達也
代表取締役専務 山宮邦夫

質疑応答

2008年5月15日(木) 15時～
於 TKP東京駅八重洲ビジネスセンター

TOHO ZINC CO., LTD.

 東邦亜鉛株式会社

'07年度決算概況

当決算期の概要

P 3

セグメント情報

P 4

連結損益計算書

P 5

連結キャッシュフロー計算書

P 6

連結貸借対照表

P 7～8

設備投資・減価償却

P 9

有利子負債残高

財政状態と経営成績

P 10

当決算期の概要

- 1 . 当年度は当初計画を達成。
前年度対比で売上高は15%増加し、
連続して史上最高を更新。
経常利益、当期利益は前年度実績を若干下回る
も高水準を維持。

(単位:億円)

	当初計画	実 績	計 画 比	前年度比
売上高	1,170.0	1,473.9	126.0%	115.3%
営業利益	160.0	172.8	108.0%	88.8%
経常利益	163.0	172.5	105.8%	96.0%
当期利益	95.0	99.5	104.7%	98.6%

- 2 . 製錬部門は、鉛・銀の価格高騰のため売上高は大幅に増加するも、在庫評価益の剥落・買鉱条件悪化・円高のために減益。
環境・リサイクルは大幅な増収・増益。
電子部品は、売上高は横這いながら長期滞留品の償却を解消して増益。
電子材料は昨年並み。
関連会社を中心とするその他事業部門は増益。
- 3 . 配当金は10円に据置の予定。

セグメント情報

(単位:百万円)

1. 売上高(連結)

	'06年度	'07年度	増減	%
製錬事業	97,623	113,729	16,106	116.5%
電子部材事業	10,843	10,901	57	100.5%
環境・リサイクル事業	9,481	12,286	2,805	129.6%
その他事業	9,928	10,472	544	105.5%
計	127,876	147,390	19,513	115.3%

2. 営業利益(連結)

	'06年度	'07年度	増減	%
製錬事業	16,149	12,457	3,691	77.1%
電子部材事業	586	1,126	540	192.3%
環境・リサイクル事業	1,734	2,311	577	133.3%
その他事業	1,397	1,815	417	129.9%
消去	403	428	25	-
計	19,463	17,283	2,180	88.8%

連結損益計算書

(単位: 百万円)

	'06年度実績 (H18/4~19/3)	'07年度実績 (H19/4~20/3)	対前年比増減
売上高	127,876	147,390	19,513
営業利益	19,463	17,283	2,180
営業外収益	1,154	1,470	315
営業外費用	2,643	1,501	1,142
経常利益	17,974	17,251	722
特別利益	13	58	44
特別損失	1,031	766	264
(固定資産除却損等)	(797)	(270)	(527)
(投資有価証券評価損等)	(17)	(486)	(469)
(環境対策引当金繰入額)	(157)	(-)	(157)
(減損損失)	(8)	(4)	(3)
(その他)	(51)	(5)	(46)
税引前当期利益	16,957	16,543	414
法人税・住民税等及び 法人税等調整額	6,870	6,594	276
当期利益	10,086	9,949	137
価格			
亜鉛:(LMEセトルメント)	(\$ 3,579)	(\$ 2,986)	
国内価格 / t	千円 461.6	千円 388.2	
鉛:(LMEセトルメント)	(\$ 1,426)	(\$ 2,858)	
国内価格 / t	千円 208.9	千円 369.0	
為替相場: 円 / \$ (TTM)	円 117.0	円 114.3	

連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

区 分	'06年度 ('06 / 4 ~ '07 / 3)	'07年度 ('07 / 4 ~ '08 / 3)	増 減
[] 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税前当期利益	16,957	16,543	414
2. 減価償却費	2,285	2,660	375
3. 棚卸資産増減	1,882	6,010	4,128
4. 売上債権増減	8,329	11,176	19,506
5. 仕入債務増減	33	3,853	3,820
6. 利息・配当金の受取額	220	437	216
7. 利息の支払額	473	654	180
8. 法人税等の支払額	3,474	10,534	7,059
9. その他	726	394	332
計	5,996	10,160	4,163
[] 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 設備投資額	1,977	2,795	817
2. 固定資産の売却額	21	15	5
3. 投資有価証券の売却・取得額	1,563	5,168	3,605
4. 関係会社持ち分の取得	2,495	294	2,201
5. 貸付による収入・支出	1,338	14	1,353
6. その他	764	142	621
計	8,117	8,370	253
差引フリーキャッシュ・フロー	2,121	1,789	3,910
[] 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有利子負債の増加・減少	713	681	32
2. 株式発行による収入	8,776	-	8,776
3. 親会社の配当支出	629	1,358	728
4. その他	8	3	5
計	8,852	680	9,532
[] 現金及び現金同等物に係わる換算差額	5	8	2
現・預金等の増減	6,725	1,100	5,624

連結貸借対照表

連結貸借対照表(1/2)

(単位:百万円)

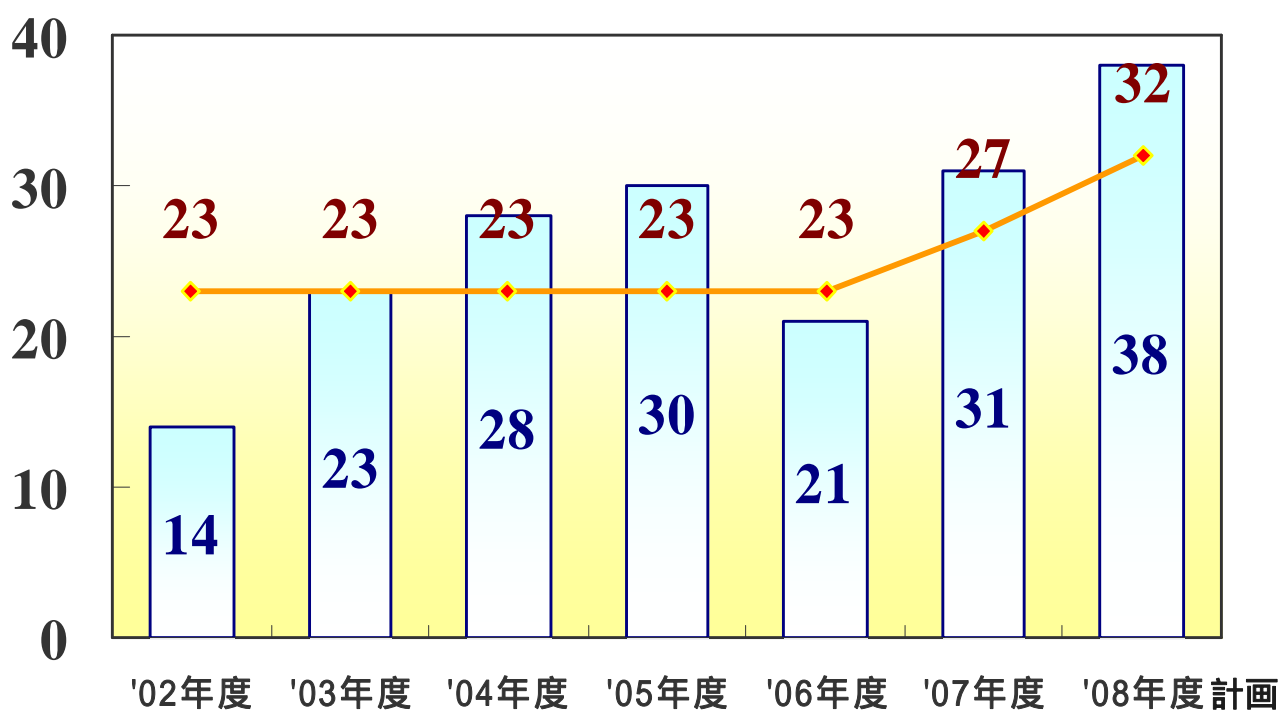
期 別 科 目	前連結会計年度 ('07年3月31日)		当連結会計年度 ('08年3月31日)		対前年比 増 減
	金額	構成比	金額	構成比	金額
「資産の部」		%		%	
流動資産	72,371	57.5	69,736	55.9	2,634
現金・預金	13,267		14,357		
受取手形及び売掛金	31,598		20,120		
たな卸資産	20,530		26,516		
繰延税金資産	2,667		539		
その他	4,420		8,254		
貸倒引当金	112		52		
固定資産	53,476	42.5	54,914	44.1	1,438
有形固定資産	34,045	27.1	34,375	27.6	330
建物及び構築物	5,512		5,767		
機械装置及び運搬具	10,656		10,573		
土地・鉱業用地	16,899		16,947		
建設仮勘定	650		763		
その他	326		324		
無形固定資産	98	0.1	92	0.1	5
その他	98		92		
投資その他の資産	19,332	15.3	20,445	16.4	1,113
投資有価証券	10,461		11,620		
長期貸付金	1,381		1,379		
繰延税金資産	811		887		
その他	7,473		7,420		
貸倒引当金	795		862		
資産合計	125,847	100.0	124,650	100.0	1,196

連結貸借対照表(2/2)

(単位:百万円)

期別 科目	前連結会計年度 ('07年3月31日)		当連結会計年度 ('08年3月31日)		対前年比 増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額
「負債の部」		%		%	
流動負債	57,111	45.4	46,193	37.1	10,918
支払手形及び買掛金	8,879		8,132		
短期借入金	23,919		26,497		
コマーシャルペーパー	8,000		3,000		
未払法人税等	6,600		1,130		
未払費用	3,028		3,117		
設備関係支払手形	290		526		
その他	6,393		3,790		
固定負債	20,806	16.5	21,200	17.0	393
長期借入金	8,514		11,618		
退職給付引当金	3,591		3,393		
役員退職慰労引当金	140		166		
金属鉱業等鉱害防止引当金	55		57		
再評価に係る繰延税金負債	5,785		5,785		
繰延税金負債	-		-		
その他	2,718		177		
負債合計	77,918	61.9	67,393	54.1	10,524
「純資産の部」					
株主資本	39,738	31.6	48,325	38.8	8,587
資本金	14,630		14,630		
資本剰余金	9,877		9,877		
利益剰余金	15,248		23,839		
自己株式	18		21		
評価・換算差額等	8,190	6.5	8,931	7.1	740
その他有価証券評価差額金	3,119		1,039		
繰延ヘッジ損益	2,710		69		
土地再評価差額金	7,579		7,579		
為替換算調整勘定	201		381		
純資産合計	47,928	38.1	57,257	45.9	9,328
負債・純資産合計	125,847	100.0	124,650	100.0	1,196

設備投資・減価償却



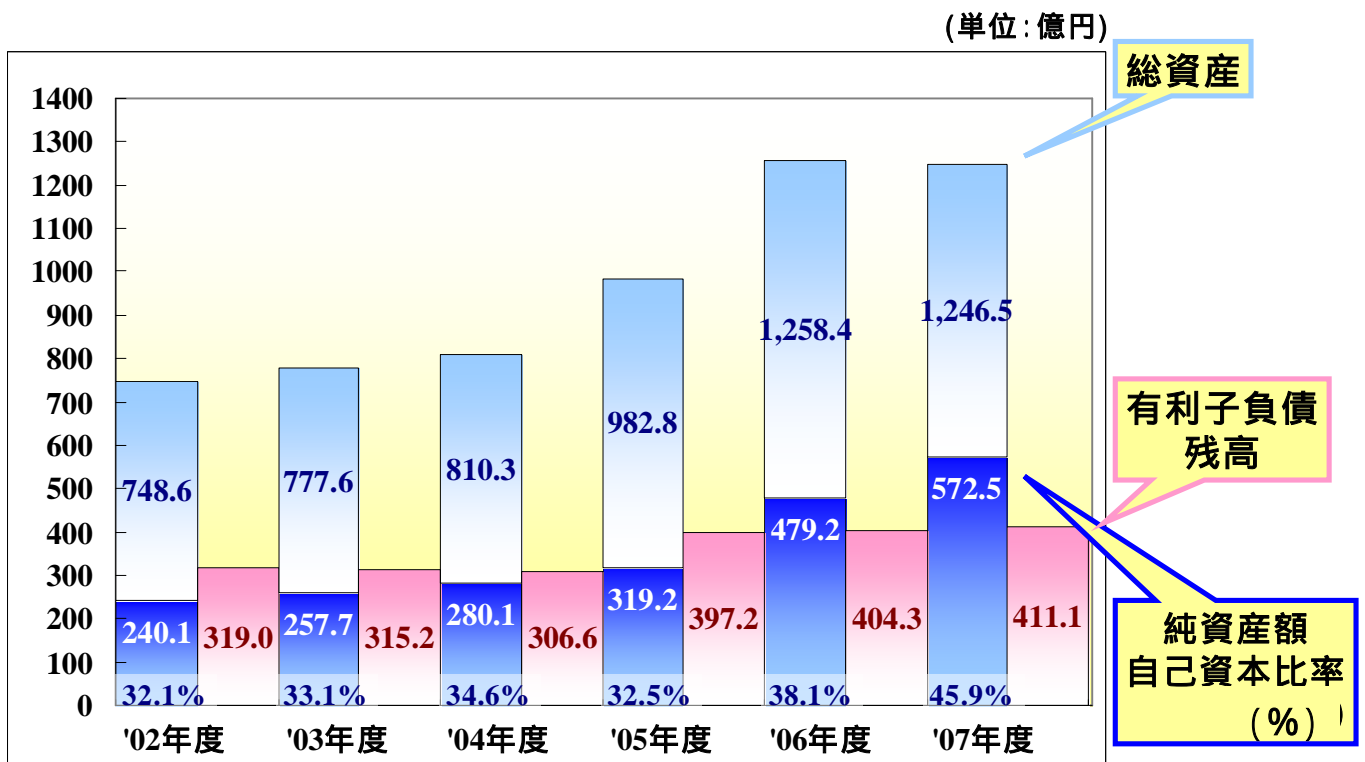
□ 設備投資 ◆ 減価償却

有利子負債残高

(単位:百万円)

区 分	'06 / 3末	'07 / 3末	'08 / 3末
コマーシャルペーパー	5,000	8,000	3,000
長期借入金	13,119	10,833	16,515
短期借入金	21,601	21,601	21,601
小 計	34,720	32,434	38,116
合 計	39,720	40,434	41,116

財政状態と経営成績



財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
'08年3月期	124,650	57,257	45.9	421.61
'07年3月期	125,847	47,928	38.1	352.92

経営成績

	1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率(ROE)	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	%	%	%
'08年3月期	73.26	18.9	13.8	11.7
'07年3月期	75.26	25.3	16.0	15.2

'08年度業績予想

'08年度('08年4月1日～'09年3月31日)の業績予想

%表示は増減率(通期は対'07年度通期、第2四半期連結累計期間は対'07年度同四半期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期 連結累計期間	25.4% 百万円 57,000	28.9% 百万円 6,700	32.1% 百万円 6,500	32.4% 百万円 3,850
通 期	21.3% 百万円 116,000	24.8% 百万円 13,000	27.5% 百万円 12,500	28.6% 百万円 7,100

前提条件

価 格	亜鉛:(LMEセトルメント)	(\$ 2,200)
	国内価格 / t	千円 272.0
格	鉛:(LMEセトルメント)	(\$ 2,500)
	国内価格 / t	千円 305.0
為替相場: 円 / \$ (TTM)		円 105.0

第7次中期3ヵ年計画 の概要と進捗状況

第7次中期3ヵ年経営計画の概要

P 13

中期3ヵ年計画の進捗状況

P 14 ~ 16

第7次中期3ヵ年経営計画の概要

対象期間

'06年4月～'09年3月の3ヵ年

基本方針

攻めの経営の継続と事業構造改革を一段と推し進め、安定的な収益構造基盤の確固たる構築を図る。

主な課題・目標

- (1) 製錬事業については、資源確保へのあくなき取り組みにより「一貫製錬メーカー(インテグレートッド・スマルター)」を実現し、さらには鉱山事業への進出を図り、資源会社への地歩を固める。
- (2) 製錬事業のインフラ・ノウハウを活用し、リサイクル原料の集荷、処理をさらに強化・拡大するとともに「環境事業」の業容拡大・拡充を一層加速させる。
- (3) 開発力、技術力の強化と新製品の投入を鋭意展開し、電子部品事業の再構築を早期に図る。
- (4) 自己責任の貫徹、自主独立(もたれ合いの排除)、利益重視等社員一人ひとりの意識改革のさらなる徹底を図る。

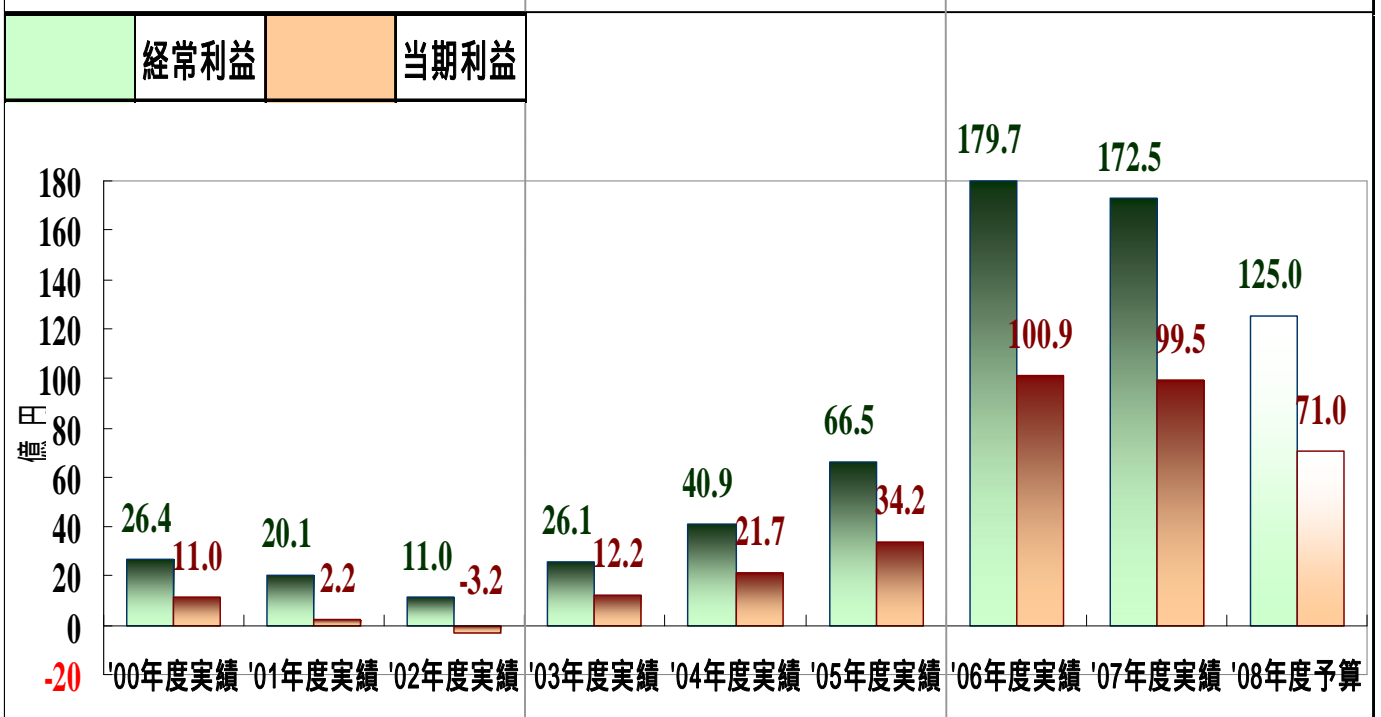
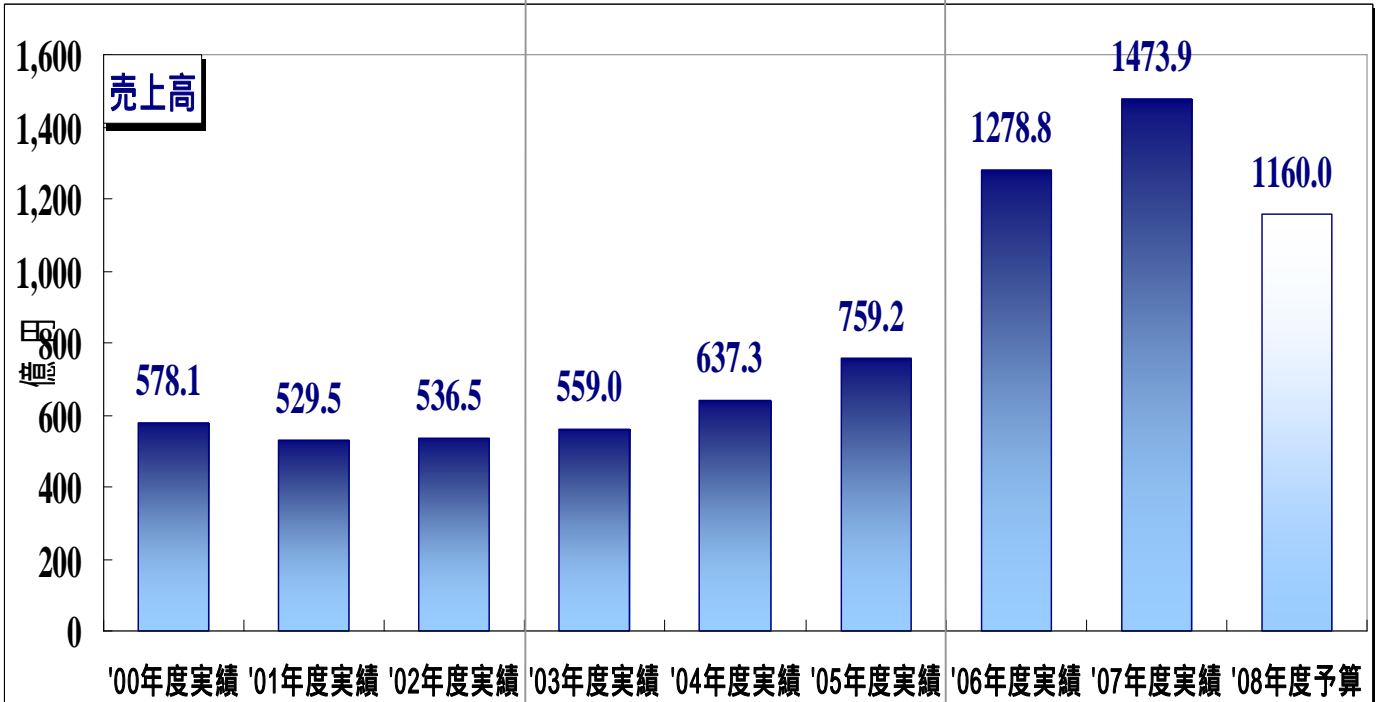
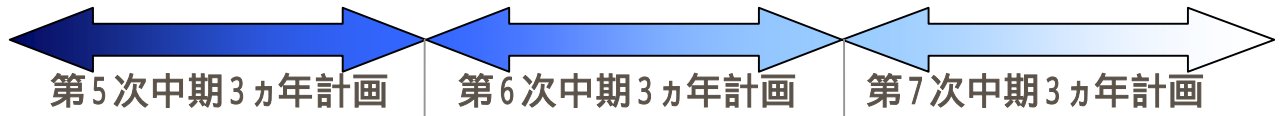
中期3ヵ年計画の進捗状況(1)

単位:百万円

連結	第7次中期経営計画			中期経営計画進捗状況					
	'06年度 (平成18年度)	'07年度 (平成19年度)	'08年度 (平成20年度)	'06年度実績 (平成18年度)	計画比	'07年度実績 (平成19年度)	計画比	'08年度予算 (平成20年度)	計画比
売上高	88,000	85,000	87,000	127,876	145.3%	147,390	173.4%	116,000	133.3%
営業利益	9,700	9,900	10,200	19,463	200.6%	17,283	174.6%	13,000	127.5%
経常利益	9,500	9,700	10,000	17,974	189.2%	17,251	177.9%	12,500	125.0%
当期純利益	5,300	5,500	5,600	10,086	190.3%	9,949	180.9%	7,100	126.8%

(条件)

亜鉛LME	\$2,180	\$2,000	\$1,800	\$3,579		\$2,986		\$2,200	
鉛LME	\$1,260	\$1,000	\$800	\$1,426		\$2,858		\$2,500	
為替TTM	¥114	¥114	¥114	¥117.0		¥114.3		¥105.0	



中期3ヵ年計画の進捗状況(2)

目標とする経営指標(連結ベース)の達成状況

	目 標	'07年度実績
(1) 経常利益	100億円	173億円
(2) 利益剰余金	200億円	238億円
(3) 株主配当	10円配当	10円配当
(4) 売上高経常利益率	10%以上	11.70%
(5) 自己資本利益率(ROE)	10%以上	18.92%
(6) 自己資本比率	50%以上	45.93%
(7) 有利子負債比率	30%以下	32.98%
(8) (6)と(7)の達成により デット/エクイティ レシオ	0.60以下	0.72
(9) 3年間の総投資額	150億円	
内訳 鉱山開発投資	60億円	
設備投資	90億円	

(参考資料)

世界の亜鉛・鉛の需給推移

P 18

国内の亜鉛・鉛の需給推移

P 19

亜鉛・鉛の価格と在庫の推移

P 20

亜鉛・鉛の鉱石輸入と国内需要

P 21

製錬事業の収益構造

P 22

製錬業界における当社の位置

P 23

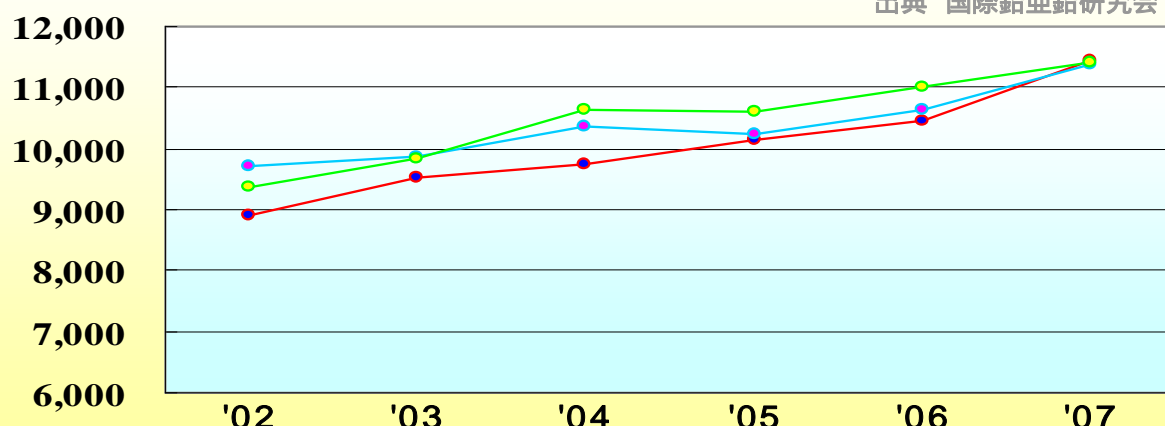
主要製品の用途と売上の推移

P 24

世界の亜鉛・鉛の需給推移

亜鉛(世界計) 千t

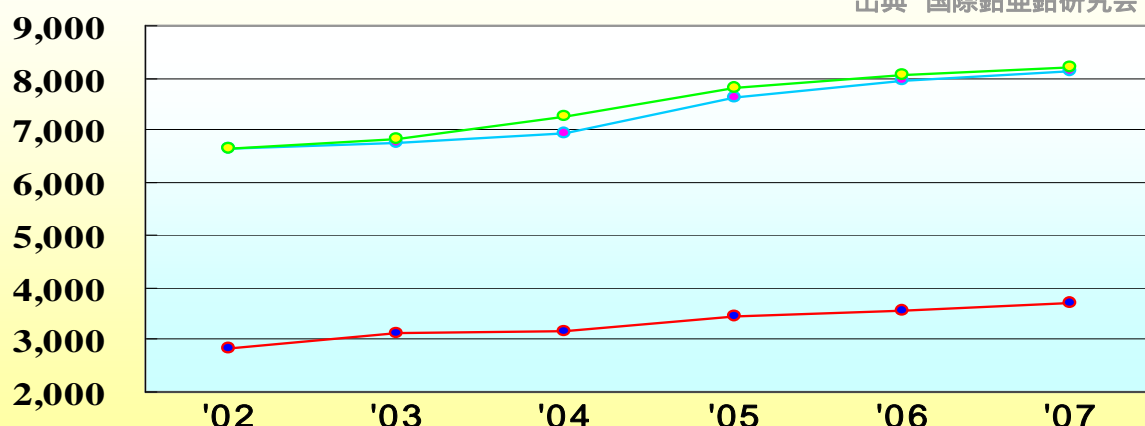
出典 国際鉛亜鉛研究会



● 鋳石生産	8,892	9,517	9,732	10,148	10,469	11,431
● 地金生産	9,704	9,879	10,365	10,229	10,647	11,394
● 地金消費	9,368	9,841	10,651	10,611	10,999	11,409

鉛(世界計) 千t

出典 国際鉛亜鉛研究会

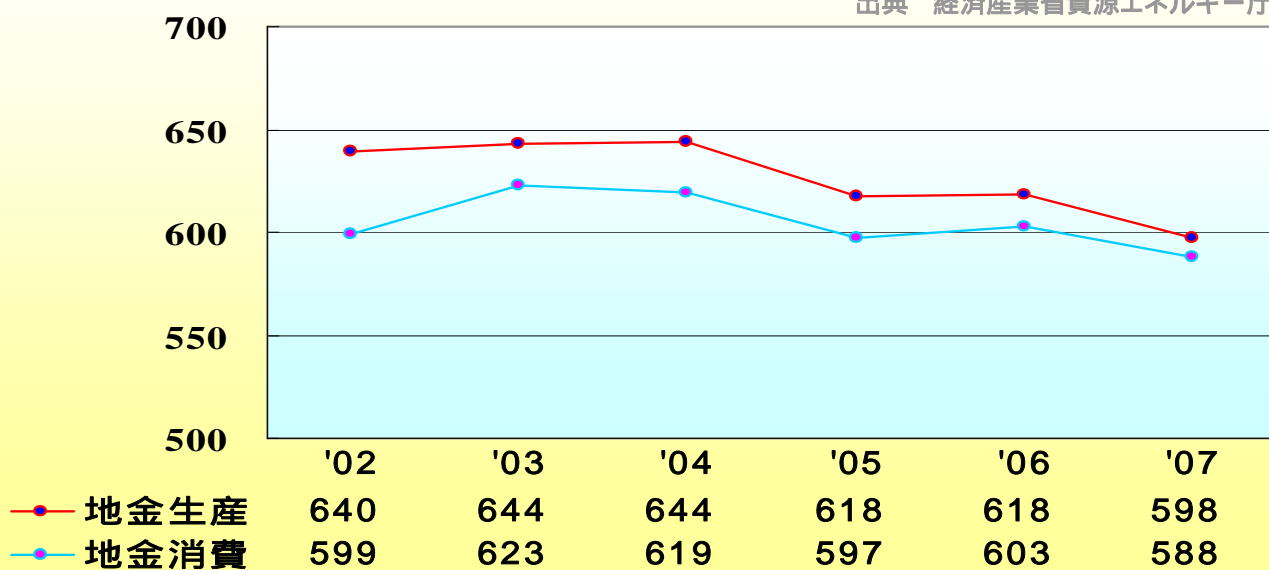


● 鋳石生産	2,830	3,120	3,138	3,437	3,540	3,685
● 地金生産	6,670	6,763	6,957	7,636	7,948	8,150
● 地金消費	6,649	6,824	7,282	7,811	8,057	8,220

国内の亜鉛・鉛の需給推移

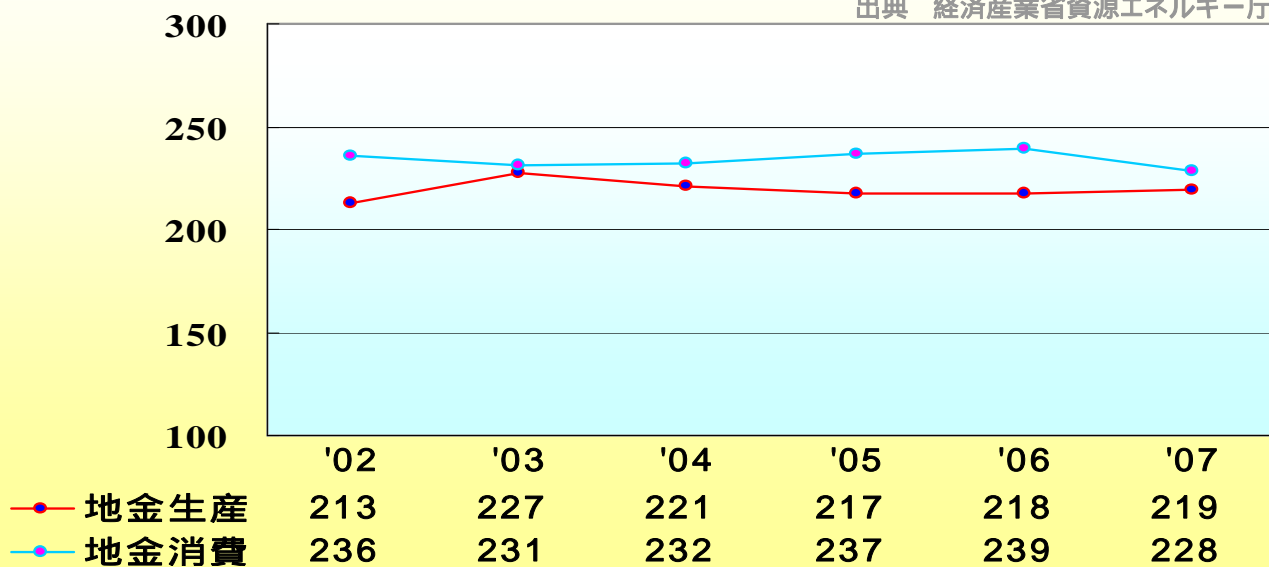
亜鉛(国内計)千t

出典 経済産業省資源エネルギー庁



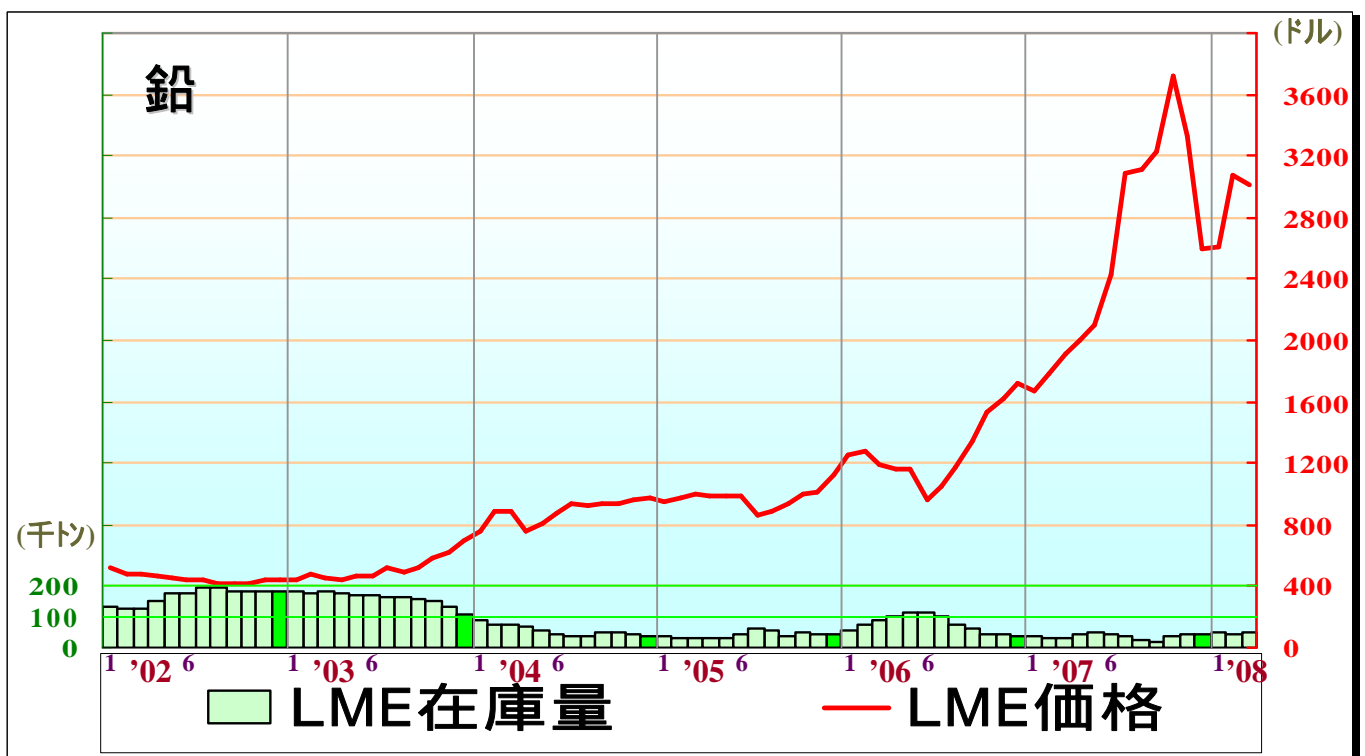
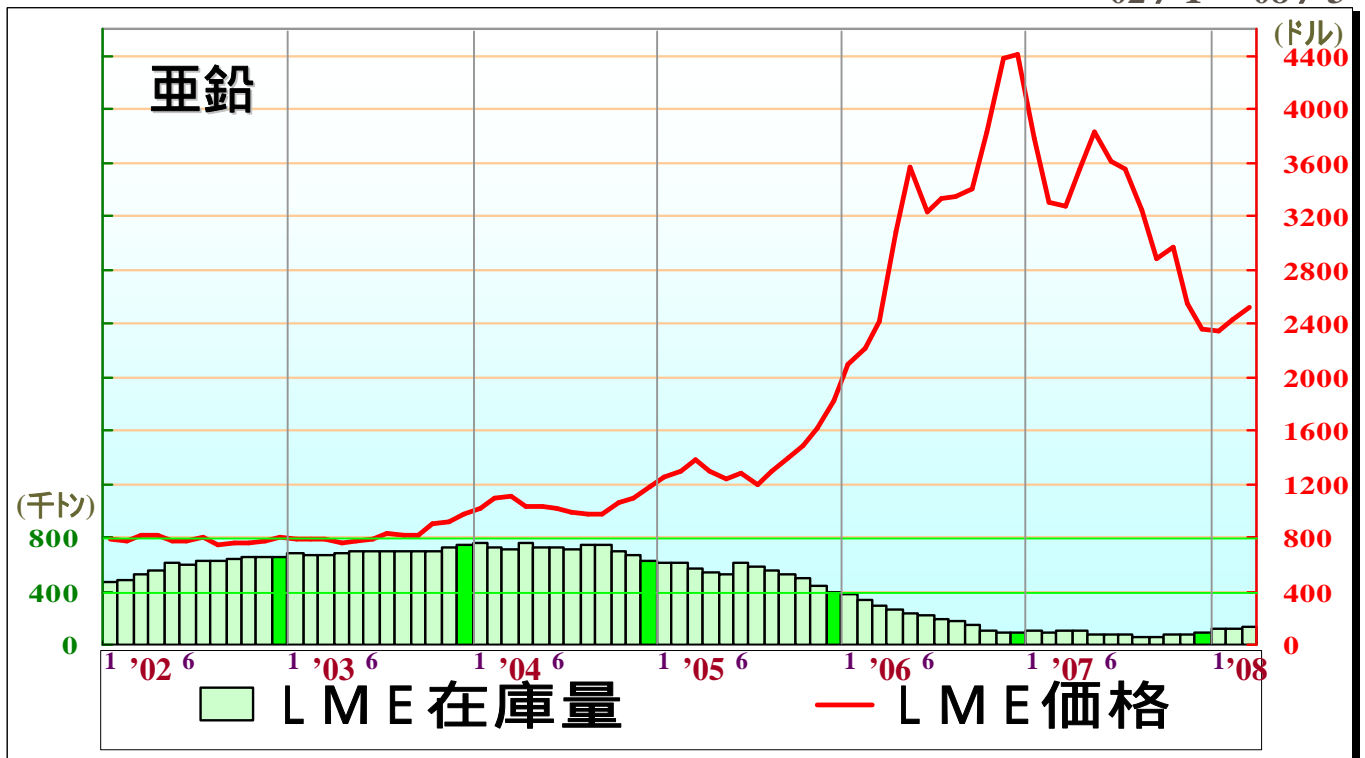
鉛(国内計)千t

出典 経済産業省資源エネルギー庁



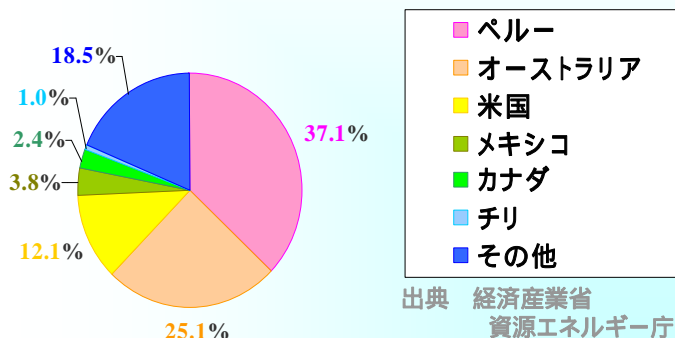
亜鉛・鉛の価格と在庫の推移

02/1 ~ '08/3

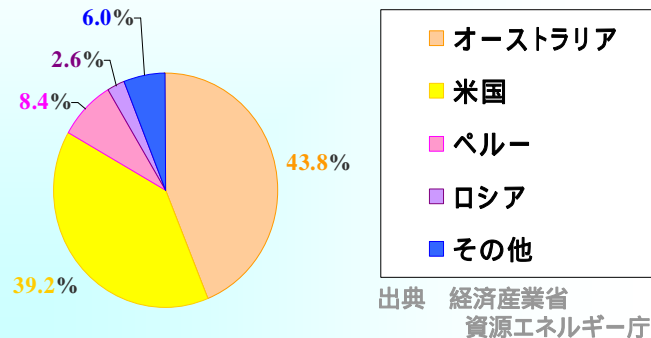


亜鉛・鉛の鉱石輸入と国内需要

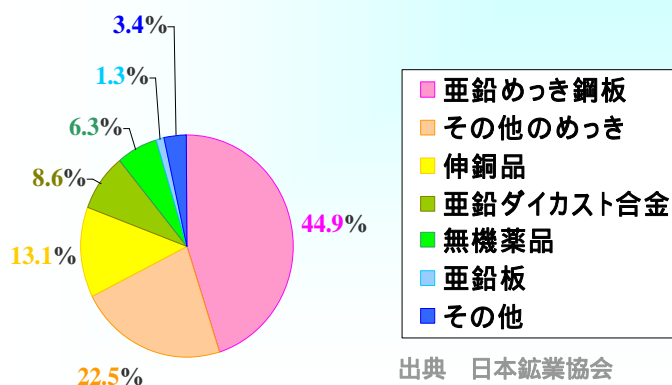
日本の亜鉛鉱石の輸入国
('07年 合計559,382t)



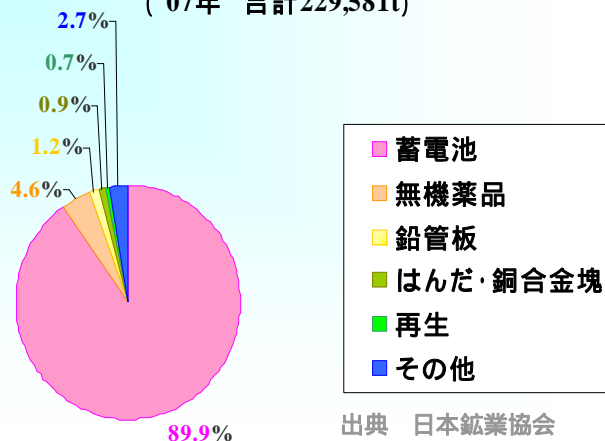
日本の鉛鉱石の輸入国
('07年 合計 92,618t)



亜鉛の国内需要
('07年 合計487,578t)



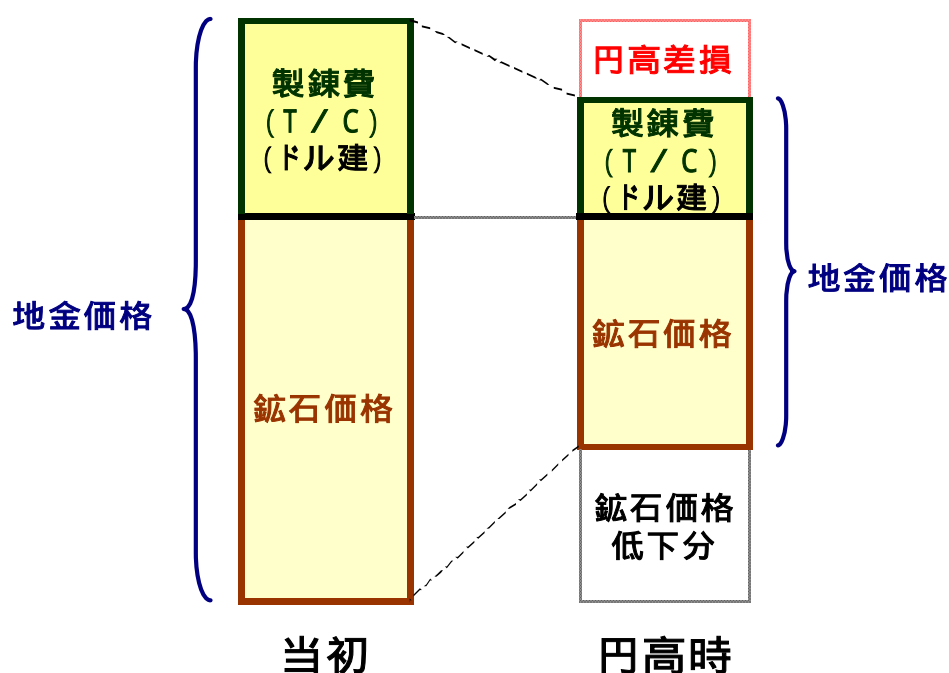
鉛の国内需要
('07年 合計229,581t)



製錬事業の収益構造

主な収益要因

1. LME(ロンドン金属取引所)
2. 為替レート
3. T / C (Treatment Charge)
(製錬費)
4. 採収差量

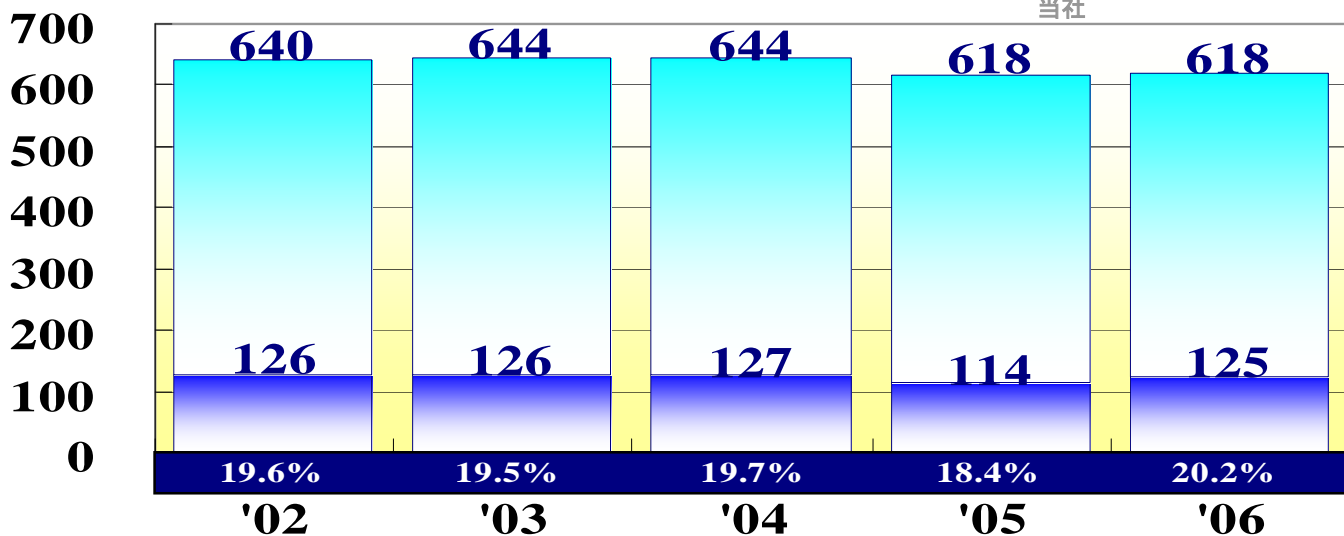


- ・国内価格はLME価格(ドル建)に連動しているため、円高になるとその分地金価格は下落し、売上高が減少する。
- ・海外鉱山会社との買鉱交渉による当社の取り分である製錬費(T / C)がドル建なので、円高になるとその分手取りが減少する。

製錬業界における当社の位置

亜鉛国内生産量(千t)

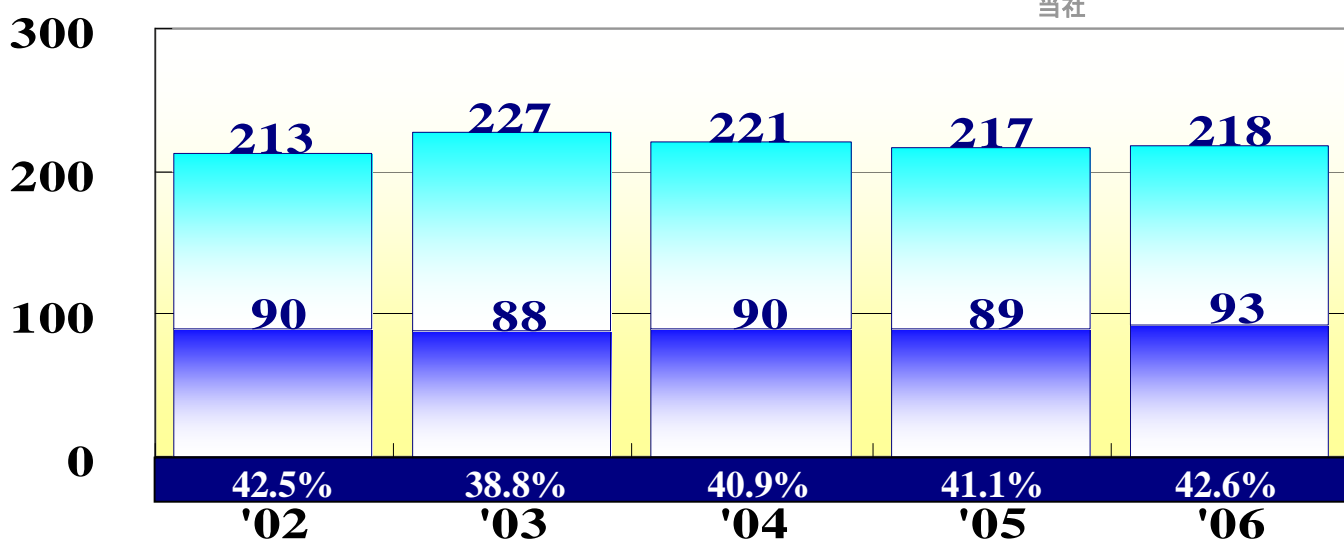
出典 経済産業省資源エネルギー庁
当社



■ 当社 ■ 国内他社

鉛国内生産量(千t)

出典 経済産業省資源エネルギー庁
当社



■ 当社 ■ 国内他社

主要製品の用途と売上の推移

主な用途

亜鉛	亜鉛メッキ鋼板、一般メッキ、ダイカスト、伸銅品
鉛	バッテリー、塗料、塩ビ安定剤、化学工業薬品
銀	フィルム、印画紙、メッキ、電気接点
酸化亜鉛	ゴム(タイヤ)、フェライト、バリスタ、触媒
硫酸	化学肥料、合成繊維、化学工業薬品、石油精製
電子部品	デジタル機器、遊技機器、車載電装品、パソコン
電子材料 (プレーティング)	接点およびコネクタ (携帯電話、デジタル機器、車載電装品)
(電解鉄)	特殊合金、超耐熱鋼、磁性材料、触媒

製品別売上の推移(連結)

	上段: 数量(t)				下段: 金額(百万円)	
	'02年度	'03年度	'04年度	'05年度	'06年度	'07年度
亜鉛	143,221	130,937	137,565	130,508	147,199	141,970
	16,680	16,456	19,970	27,489	65,789	53,545
鉛	89,493	78,865	82,092	83,126	88,005	95,590
	6,785	6,900	9,674	11,418	16,224	32,406
銀	224	280	273	316	328	347
	4,111	5,443	6,416	9,058	15,381	18,251
酸化亜鉛	16,987	15,070	16,057	15,790	14,572	15,037
	2,100	1,871	2,158	2,523	4,826	4,943
硫酸	256,594	237,127	253,671	248,055	256,620	280,384
	1,314	1,220	1,210	1,256	1,269	1,478
電子部品	4,425	4,818	4,353	4,378	5,366	5,397
電子材料	3,169	3,406	3,914	4,512	5,503	5,528
環境 ・リサイクル	1,876	2,315	2,076	2,400	2,032	3,299
その他	13,188	13,474	13,960	12,878	11,482	22,539
合計	53,648	55,903	63,731	75,915	127,876	147,390

2008年5月15日

Perilya 社による CBH Resources 買収合併概要

東邦亜鉛株式会社

3月26日に豪州シドニー証券取引所へ発表された上記買収合併手続きは順調に進行しておりますが、その概要及び当社の立場に関し下記の通り改めて取り纏めました。

(金額は豪ドル)

1. 被買収会社：CBH Resources Limited (本社 シドニー)

現時点で当社が約28%のシェアを保有する連結決算持分法適用会社で、当社指名の役員2名を派遣中。本合併発表に際し、株式売買が取引停止となった3月19日時点での時価総額 約2.9億ドル。

2007年6月期の総売上高 269百万ドル、純利益 38百万ドル、
生産量 亜鉛分 52千トン、鉛分 26千トン、銀 17トン

当社は株式以外にも同社の転換社債 25% (発行総額約2億ドル)を保有、又同社に対し約13億円の融資も行っている。同社のエンデバー鉱山からは本年度は年間約6万トンの亜鉛精鉱を引き取っており、来年以降は同鉱山生産量全量の引き取りが可能。(来年の生産量は12-13万トンの計画)

同社は合併に先立ち期近に収益を生まない探鉱開発案件を分社化することを、去る5月2日の臨時株主総会で決議、この新会社は Kimberly Metals と命名され、今月19日に発足する。当社は当面同社の約28%の株式も保有するが、保有継続はせず今後売却の方針。

2. 買収会社：Perilya Limited (本社 パース)

3月19日時点での時価総額 約2.0億ドル

2007年6月期の総売上高 387百万ドル、純利益 82百万ドル、

生産量 亜鉛分 92千トン、鉛分 60千トン、銀 52トン、金 24千オンス、

両社の合併により、亜鉛鉱山としては世界9位、鉛鉱山としては世界7位の会社となる。

3. 買収内容：

- 1) 普通株：CBH 株 3 株に対し Perilya 社株 1 株との株式交換、又、CBH 株主はその 20 株に対し Perilya 社 1 株のオプションを貰い受ける、オプションの行使価格は 2 ドルで、行使期限は 2010 年 12 月。
- 2) 転換社債：昨年発行した約 2 億ドルの転換社債は株式転換対象を Perilya 社株に変更し上記交換比率でそのまま受け継がれる。

上記合併合意以前の 1 ヶ月間の株価推移ベースでは上記交換比率は CBH 株主にとって 27% のプレミアムとなる。

4. 東邦亜鉛の資源戦略：本合併は当社の投融資のセキュリティの向上に加え、資源確保の面からも有意義な合併であり、特にブローケンヒル地域でのシナジー効果は多大である。(両社のこれまでのPRによれば2億ドル以上の効果をもたらすとのこと)CBH社が独自に開発を目指していたラスプ鉱山も地上設備の新規建設が不要となり、飛躍的に経済性が向上する。
5. 業績への影響：合併後の新会社への当社持ち株比率は 16%強となり、当社指名の役員 1 名を派遣予定で会計士の確認が必要だが引き続き連結持分対象会社となる見込みである。当面当社業績への直接的な影響はないと認識する。
6. 今後の予定：7月下旬に臨時株主総会が開催され、所定の賛成が得られれば8月中旬には本合併が発効する予定。

以上

Project Locations



Operational efficiencies at Broken Hill—lease boundaries

Existing Broken Hill mineral assets of Perilya and CBH affected by lease boundaries

Plan view of Broken Hill mineral assets

